

各分科会意見一覧

(サラリーマン分科会)

1	鹿追町の将来の人口推計を見ると、他の管内町村と比較しても減少率が少なく頼もしい。酪農家の規模拡大が進み、家族だけの経営では難しく従業員を使うところが増えてきている。労働力の安定確保が必要となり、数年前からは、中国からの研修生が入ってきている。労働力を安定確保する体制が必要。その為には、住宅の確保が必要、現状は不足している。町内には町外から通勤する労働者も多い、その為にも住宅の安定的な確保が必要だと思う。
2	少子高齢化の進行により、人口減少は避けられない。人口を維持するために定住できる環境づくりが課題。鹿追は、食料品などは地元購買でも満足できる。医療についても国保病院が専門医を呼ぶなど努力している。地理的には帯広から車で約30分、通勤にもそれほど不便がない。
3	医療、福祉など都市部にはかなわないが、先程からお話しにあるとおり、鹿追町は頑張っている部分がある。そういう部分を少しずつ伸ばしていけば良いと思う。定住に関しては、鹿追、瓜幕の分譲、新築住宅の補助などをやってきている。良いところを更に伸ばしていけば、少しずつ定住してもらえるのではないかと思う。
4	大きな事業所を誘致すれば、人口対策に貢献できると思うが、交通アクセスの点からなかなか難しい。鹿追町内に点々とある良いものを結びつけてブランド化、起業化していくことが大切。人口を増やすのではなく、維持していくことを考えるべき。
5	ごみの処理場について、埋め立てごみになんでも入っている。木の枝などは、別に埋めたら自然に土になるはず。そういうものを別に埋めれば、埋め立て処理場も永く使える。すでに分けているのであれば、更に住民周知が必要。
6	予算執行後は、執行内容の評価をすべき。チェックが必要。やりっぱなしでは次の人の意欲を削いでしまう。
7	田舎暮らしブームを活用して移住促進。温泉などと絡ませれば鹿追町は絶好の穴場、鹿追を拠点についての形を検討してはどうか。田舎暮らしはしたいが、仕事が無いと移住できない。日高吾郎の番組などメディアを上手く活用することや、農協などが農家を指導して廃屋などは壊してもらうなど第一印象を良くすれば永住の可能性を上げる。
8	鹿追は素材が揃っているので旅行会社などに売り込んではどうか。お金がかかっても来てもらえれば良さがわかる。
9	街中に入ってくれるバスがほしい。
10	やはり人口が増えれば、色々なものが活性化することは確かだと思う。高齢化が進行する、産業を興してもニーズが違えば倒れる。更別が福祉の村を進めている。福祉施設を充実させることによって、安心して住めることになり、人が集まってくる。高齢者は購買力もある。
11	介護の関係では、共働きの家庭で、親が病院などに入るまでではないが、一人では置いておけない場合、あずけるところがあれば良いと感じている。
12	老健施設でなく、病院でなく、デイサービスでもない、もっと気楽な「託老所」のようなものがほしいと感じている。
13	鹿追町は福祉施設は、充実していると思うが、確かに施設入所までいかないが、部分的にあずけられるサービスが不足していると思う。
14	福祉サービスが充実していないと将来的に住めなくなる。入所・在宅、その間のサービスの充実が必要だと思う。
15	将来住み続けるには、雇用の場の確保、医療体制の充実が必要。特に医療体制の充実は、安心安全につながる。帯広へ1時間以内で行ける。帯広のこの病院に何分で行けるなどのアピールをしてはどうか。鹿追に老後の楽園を創ってはどうか。医療、福祉を充実して、本州などから定住してもらおう。福祉、医療を充実することにより、雇用の場もできる。
16	福祉を間違えないでやってほしい。老人を過保護にせず、生涯現役に頑張れることが理想だと思う。先程から話がでている「託老所」にしても、行政主導ではなく、自分たちができることをやる。老人が老人を助けていく社会形成が必要ではないか。
17	これからの高齢者は社会に役立てる。自分が地域に役立っていると感じることができるといい地域になれば良い。
18	ボランティアに参加した場合に、ポイント制を付けて地域通貨などの形にできないか。さわやか財団がやっている。ポイント制は鹿追だから牛乳贈答券、お米券などが考えられる。
19	酪農家の規模拡大が進み、家族だけの経営では難しく、従業員を使うところが増えてきている。労働力の安定確保が必要となり、数年前からは、中国からの研修生が入ってきている。労働力を安定確保する体制が必要。そのためには、住宅の確保が必要。現状は不足している。町外から通勤する労働者も多く（農家に関わらず）、住宅の安定的確保が必要と思う。
20	人口が減少する中、人口を増やしていくには働く場所があることが重要。特に製造業、そういう会社を知恵をしぼって育成しなければならぬ。例えば、地元産品を加工する産業など、チャレンジすることが必要で、それを町がバックアップすることが重要だと思う。
21	もみじの里も町外からの通勤者が増えている。住んでみれば、町の良さを理解すると思うが、そこまで辿りつくのが難しい。なかなか公営住宅が空いていない事情があるのかもしれない。

22	高校を卒業して、大学、就職などで町外へ出て行く。農業などの後継者を除けば、その後鹿追に帰ってくる理由が無いのが現実。
23	商店街を見ていて、今後後継者がいるのか心配がある。今は自家用車を運転して町外にも買い物に行けるが、高齢になると地元で買い物がしたい。商店が減っていくと生活が出来るのか不安がある。
24	将来住み続けるには雇用の場の確保が必要。
25	大きな事業所を誘致すれば、人口対策に貢献できると思うが、交通アクセスの点からなかなか難しい。鹿追町内に点々とある良いものを結び付けてブランド化、起業化をしていくことが大切。
26	「おふくろさん」「熟年会」など生きがいのある活動がある。生産・加工・販売など、このような事を上手に回せば町の活性化につながると思う。
27	町内でよく買い物をする。電化製品は、町内で購入しても価格は、帯広市内の量販店と変わらない。しかもアフターサービスがある。スーパーなどの食料品も変わらない。町内で売っているものは、意外と町内で買ったほうが、ポイントも付いてお得である。
28	製造業が極端に弱い町である。製造業がコストがかかる話なので、人が集まる商売がないか考えることが必要。例えば、鹿追には山があり、登山も流行になっている。登山ウェアや靴なども普通のものとは違うし、需用がある商品だと思う。鹿追の登山ルートと連携した商売ができないか。
29	製造業の問題もあったが、北海道は遅れているし、帯広に関しても誘致はうまくいっていない。鹿追で考えることは難しいと思う。地産地消でブランド化、グルメ化などを地元で図っても、すぐ大企業に真似されてしまう。人と人との交わりで、作ったものを一緒に食べる「スローフード」を目指していくのが良いと思う。
30	高速道路では、この近くに芽室のSAがあり、そこまでノンストップで走り、トイレタイムと車内で食べる軽食等を買って目的地に向かうのが一般的な行動だ。清水ICで降りてもらうには相当のアイデアが必要だと思う。
31	ラジオでの宣伝、テレビ番組に取り上げてもらうこと、旅行会社に売り込んでいくことが重要だと思う。
32	美術館が3つもある鹿追の独自性を打ち出していければ。
33	BSE問題が鹿追であったとき、その時も近畿で鹿追牛の流通が続き、今でもつながっている。そういう取り組みはこれからも大切。
34	学校の統合をしないまち鹿追町。山に四つもある。それは地域のコミュニティーが確立されているから。ただ、現PTAとOBの考え方のギャップは大きい。小規模学校の良さもあるが、大人数のスポーツができないなどの課題も大きい。100周年の節目などには改革をすることも考えられる。

(中年層分科会)

1	観光客等が利用しやすい公共施設の開館等について、多くの施設が月曜閉館日となっており、観光シーズンなどでは職員体制を変則勤務などでサービスを鹿追方式で厚くできないか。
2	行政は万能ではない。税金をどんどん使えばやれないことは無いが、貯金を減らし借金を増やして住民の負担が増える。行政がどこまでやったらいいか、住民ができること、母親たちのスクラムを組んだらできることは無いが。そこに行政が支援するなどを考えながら計画を作ること大切。
3	最小の予算で最大の効果が求められる時代。業者依存ではなく、住民の力でより多くの仕事をこなすことが必要。住民アンケートで多くの要望が出ているが、総花的ではなく、選んで実施。人の力を活用し、協働のまちづくり、地域主権という言葉で新しい町づくりを模索する時代。
4	行政が何と何に力を入れて行くか、コミュニティは最終的なベースとして、教育と健康、若者対策。若い世代が希望を持って生きられるようにすることが大切。高齢者対策が先行している現実を打破必要。
5	若い人対策で子ども人口を増やしている長野県下条村の状況。帯広・札幌等との地理的に、また人口的にも鹿追と似ている。
6	住民が地域が活気あふれる状況になっていくためには、住民責任、負担を考えて行かなければならない。実現には役場に頼る比率も8:2から5:5にするなど、役場からの問いかけではなく自主的な動きを作ることが大切。
7	計画では人口を減らないことを示したいが、人口推計やこれまでの取り組みを進めてもなお減少する実態がある。この実態を無視は出来ない。
8	そろそろ住民自らがしなければならぬ。町の財政が上向くことは当分は考えられず、真剣にそのことを考え、夫々が自立する意識を高めることが必要。
9	全日本エンデュランス大会など、今年は地域貢献の一環として企業が多く出役し、職員の出役が少ない状態で終わった。主催者は来年もその様な形で役場に負担が掛からないようにしたいと発言。そのようになって行って欲しい。
10	芝生が綺麗だが、最近はずほど。せめて町民ホールの芝あたりはもう少し綺麗に管理を。刈ったままの状態では枯れた芝が茶色くなって見にくい。
11	ポイ捨て禁止条例があるが、結構ポイ捨てがある。車の窓から灰を捨てる行為があり、コンビニにもゴミ箱が無い。条例って何なのか。浸透するまでは、強制的にしても意識を高めること必要。綺麗な町なのに、ポイ捨てや犬の糞の後始末をしない、ノーリードで放し飼いなども、観光の町を標榜するのなら、その辺も大切。運用するかどうかはあるが、罰金制度があっても好いのではないかと。札幌市内では罰金があるので、禁止区域では吸わない。
12	生ゴミはバイオプラントに。他のリサイクル(紙、プラ、ビン、缶など)が最終的に収集されたその先がどのようになっているのか分からない。リサイクル、リユースなど、分別の先が目に見えるようにすることで意識が高まる。新聞がどの程度集まりどの程度のお金になっているのか。お知らせはしているが、目に見える形で広報しているか。広報誌に載せているが、人によっては広報も見ない人もいる。
13	子育て環境について、働きたくとも子どもを預ける場が無く、働けない若いお母さん方が沢山いる現状を踏まえ、解決を。子育てには行政に頼るだけではなく地域全体で育てるなど、コミュニティの創造が求められる。
14	出生率が少ない。現状は沢山のお母さんたちは働きたい、子どもも生みたいが、子どもを育てていく施設が少ない。他町では民間の施設もある。移り住みたい人は沢山いる。子育て中は鹿追で仕事もしたい。老人の施設対応も必要だが、医療機関の充実や、主婦的な感覚で子育てしやすい計画を。
15	施設は足りているが、入口で凄いルールがある。面接、その次に働いている証明書がなければならない。土日の面接も無い。学童も無いし学校の下校時間は早く、仕事はできない。悪循環の改善が必要。ウリマックホールの活用には資格のある人が必要。ボランティアや、役場が資格者の派遣も考えられる。
16	施設を作らなくても、瓜幕、笹川の子どもも循環バスなどが出れば一箇所で学童施設を使うことが可能だ。
17	中高生はボランティア意識や社会貢献意識が高いと聞く。年寄りを大切にしたり、子どもと接する意識が高いことを考えると、そういう仕組みの提案を、10年の計画の中に。
18	鹿追にも昔の遊びを教えてくれる人も居る。年寄りの元気の場合にもなるしそういう場があってもよい。
19	多くの施設が月曜日閉館となっており、観光シーズンなどでは職員体制を変則勤務にするなどで、サービスを厚くできないか。
20	経済に関しては、商業の活性化は難しいと思う。平山金物店が、小さなホームマックだったことに地元は気づいていない。地元のことを見つめ直すことが必要。
21	経済全般で、基盤に先行投資をして、事業者がそれに乗って頑張ってきた。今をよりよくするためには、どうしたら良いのか考えなければならない。

22	鹿追の街では、土日しか時間の無いものは買い物ができない。薬局しか開いていない。土日はゆっくりしたくて、行きたくないのに音更まで行かなければならない。鹿追町内の商売というものも考えてやっていかないと良くない結果になる。
23	店の休日に関連して。刈払機の貸し出しの制度があるが、仕事が終わってからでは間に合わない。利用者の立場を考えた対応をしてもらいたい。
24	鹿追の資源に付加価値をつけて売ることが大切だと思う。
25	農家から直接もらう以外、スーパーで鹿追産でお目にかかれなと感じる。地元のものは美味しいので、さびしいと思う。
26	郵便局でふるさと小包を実施しているが、来月から鹿追そばと提携して、新そばと年越しそばをやる。町として、蕎麦だけではなくポックルなど、特化した地場産品などで活性化できないだろうか。
27	小売店は問屋がなくなれば店を閉じてしまう。買い物難民の時代も近いと思う。
28	連売（昔で言う長屋）を復活させよう。高くても何か魅力のあるもの、人と人のつながりを大事にしている、地域での連売の仕組みを作っていく。
29	農業と商工業、観光が連携していかないと町の活性化は難しいと思う。
30	初めて始めるもの（起業など）に役場から支援を受けるのは極力避けた方が良いと思う。役場が金を出させてくれと言った時に「しょうがない受けてやるか」ぐらいの気概がないとなかなか事業は進まない。道の駅で成功しているのはそういうところ。
31	中高校生はボランティア意識や社会貢献意識が高いと聞く。年寄りを大切にしたり、子どもと接する意識が高いことを考えると、そういう仕組みの提案を、10年の計画の中に。
32	地域を動かす力を持つ人は居る。その力を生かしプロデュースする人が必要。今、弱いのは生涯学習の地域づくり。生産性の高いことを考える存在が町を変える。そういう意味での生涯学習を強めていく必要性あり。
33	公共施設の休業日がスポーツセンター・日勝記念館は月曜日に集中している。観光シーズンなど観光客が集中する時は鹿追方式で、職員も変則勤務で対応するなどするといい。旧態依然の方法を踏襲するのではなく、海外からの客もあり、ちょっと変わった鹿追町に。
34	月曜日休館。公と民間。国内でも地域差がある。北海道は月曜日休み、本州火曜、飲食店は水曜で組合が決めている。観光シーズンは無休などもあるが、住民サービスの充実を実現するには役所にまかせっきりではなく、民間ボランティアが必要になってくる。

(子育て分科会)

1	患者輸送バスで時々、子どもたちがプールに行ったりしますが、夏休みなど送り迎えができないので、本数がもう少しあると便利です。
2	核家族の子どもが病気をした時などに一時預けられる体制があれば、助かるります。「子育てネット」は良い対策だと思いますが、行政が関与し安定した運営ができる組織の構築が必要と考えます。
3	夜中でも安心して相談や受診ができる町立病院を望みます。
4	農家地区の子どもも学童保育に通える体制整備を望みます。母親が仕事がしやすい環境になります。
5	農家地区の保育所にも給食の配膳を望みます。毎日でなくても週一回の対応でも助かります。
6	保育園は、日曜日以外対応してほしい。第2土曜日を休むのは、あまり無いと思います。
7	子供たちが市街のプールなどに行きやすくするため、夏休みなどの患者輸送バスの増便を望みます。
8	町の公営住宅に住んでいるが、子どもが成長してくると少し狭い。希望は出しているが、1年経っても広い公営住宅が空かない。役場に状況を聞きにいったも、何人待ちなのかも教えてもらえない。子育てしやすい広い公営住宅を増やしてほしい。
9	小中高一貫教育で、子どもたちのレベルが高い反面、高校に行けない特学などの子どもが町から出なくてはならない状況になっている。一貫教育でやる以上、そういう子ども達の対応を検討すべき。積極的な町から道教委などへの要望を望みます。
10	高校の男子寮はあるが、女子寮が無い。町として女子寮があることは良いこと。地元の高校はずっと残していきたい。

(高齢者分科会)

1	医療福祉関係だと、昔は鹿追で手術もできました。今、それができないのが残念です。帯広市などの医療機関との連携を密にし、いかに早く搬送できるかが重要だと思います。
2	ある所で交通事故に倒れている人を見ました。すぐそこに病院がありました。看護師さんも来ていましたが、名前などを確認しているためか救急車に乗るまで15分くらいかかっていた。この場合は、乗せて走ってからだだと思います。このいう事の改善が必要だと思います。
3	移住促進は、人口減少の対策として重要です。特に若い人に移住してもらおうと助かります。受入れ体制の整備が必要だと思います。
4	鹿追町は全体的に主要な施設などへの案内看板が不足している。町外からのお客さんなどは不便だと感じる。新得町方面からの案内板、介護予防センターの案内板など町全体の案内表示を充実する必要がある。
5	お葬式の際の供花紙は、清水町は無料です。何故、鹿追町は千円もかかるのか。また、仕出しも清水町は立派です。鹿追町はほとんど帯広から提供される。鹿追にも飲食店があるのに改善できないのか。香典の関係についても時代に則した新しい生活改善運動について再考する必要があります。
6	今後、高齢化が更に進行することに伴い、町内や町外への高齢者の移動手段の確保、充実が重要。
7	高齢者と町外からの鹿追高校生が入居する集合団地を検討してはどうか。高齢者と若い人のコミュニケーションも生まれる。
8	高齢者世帯、特に独居老人に対して、きめ細かな確認が必要。このことから、民生委員は年齢に近い元気な方で仕事を持っていない方が良い。老人会などとも協力して皆で助け合う方法が良い。また、消防査察と共同した見廻りの回数を増やせないか。
9	住所、氏名などが分かり、高齢者が常時携帯する高齢者カードのような制度が有効ではないか。
10	介護予防センター内部の人工芝が劣化し、室内ゲートボールができる状況ではない。早急に改善してほしい。
11	農家地区の高齢者でパークゴルフをする人が他の地域の人と競い合う機会がない。高齢者のパークゴルフ大会が年一回くらいあっても良い。老人クラブ連合会主催でも町主催でも良い。
12	高齢者世帯の除雪対策について、高齢者が更に増えていく現状を踏まえ、見落としが無いように対応策を構築してほしい。
13	鹿追市街のゲートボール場を何とかしてほしい。葬儀、雨天の際は、ゲートボールができません。
14	アンケートの中で、買い物不便についてありますが、高齢者、特に独り暮らしの高齢者に対し、商店街で電話などで注文を受けて、1週間分くらいの買い物を自宅に届けるような仕組みはどうだろうか。配達した人が独居老人の安否確認もできる。個人の営業の範囲では難しいので商工会に検討してもらうのが良い。町で個人の経営まで立ち入るのは難しい。
15	地場の農畜産物を活用して、起業ができ二次産業につながれば良いと思う。
16	かんの温泉跡地はどのように活用されるのか。泉質が良いことは分かっているし、観光振興面と高齢者の保養とあわせて、有効に活用してほしい。
17	鹿追町には、農作物の大きな加工施設が全くない。何かできないのかなと感じている。中札内村では、枝豆や鶏肉などで、道の駅も道内有数の集客である。鹿追の道の駅にも、「鹿追に行けばこれがある」というものを研究してほしい。
18	商工業者は町外の大型店舗に押されて、諦めているのではないか。大変だから日曜日休むようではどうだろうか。これでは努力していることにならない。協調して発展していかなければならない。
19	Aコープがやっている移動購買車は、実際には採算がとれない。農協としてのサービス事業でやっている。商工会だってできるはずだと思う。
20	鹿追に新しい住宅団地ができて、新しい個人住宅が多数建設されているのに、町内の建設業は見えない。ほとんどが町外の業者。町内の業者も努力していると思うが、もっと努力するところがあるのではないか。
21	アフターサービスのことなどを考えれば、町内の業者も案外良いと思うが、積極的な営業活動など、業者の努力がもっと必要だと思う。
22	屋根の張り替えや玄関の改築など、町外の業者はよく営業に来るが、町内業者は来たことがない。努力していないことは明らかだと思う。
23	鹿追には、せっかく美味しい素材があるのに、帯広などで加工されて売られている。鹿追のまちで起業して、良質な地場産物をアピールしていければ良いと思う。そうすれば、沢山の人が来てくれて、地元にお金も落ちる。
24	プレミアム商品券は年に1回だけだが、人気があれば年に2回実施してはどうか。あまり商工会は儲からないのだろうか。
25	葬儀の際の供花紙は、清水町は無料らしいが、鹿追は1,000円かかる。なぜだろうか。仕出しに関しても清水町は立派だが、鹿追の場合はほとんど帯広から提供されている。鹿追にも飲食店があるのに改善できないだろうか。
26	ハンターが少なくなってきた。鹿の獣害が大変である。ハンターの育成・養成が必要だと思う。新得町が鹿肉の活用(ソーセージなど)と鹿対策をやるが、鹿追町にも考えてもらいたい。

27	国道274号の鹿追高校の正面入口が狭くて入りづらい。縁石が2つ無ければ非常に楽である。町から開発建設部に要請してほしい。町議にお願いしてきたが改善されない。
28	下市街の交差点で、鹿追市街から音更方面を向かうところが危険である。外側に傾斜になっていて、冬は特にすべる。以前から要望しているが結局、改善されていない。
29	町道にビートを運搬するトラックがどんどん入ってくる。国道を走るように町で指導してもらえないだろうか。

(農業分科会)

1	従業員の人数は、他の町村から見ても比較にならないくらい多いと思う。それによって住宅が不足している。他に、主な産業がないので、従業員の増加が、住宅が足りなくなっている要因だと思う。従業員の増加は産業の活性化に貢献している。住民票が有り、納税もしている。行政はそれに応えていくべき。住宅の問題は早急に改善していくべきと思う。
2	他の産業で企業誘致をするというのは、鹿追は難しいと思う。だからこそ、農業の従業員や研修生は大事にしていくべき。
3	ごみ処理について、15年という当初の計画があり、現在のところ当初の予定よりは埋め立ての量が少ないようで15年以上は現在の埋め立て施設が使用可能と担当から聞いている。現在の施設については、2つ目の埋め立て施設の建設も可能なように計画されている。十勝圏全体での処理施設の計画もないわけではないが、足並みが揃っていない。ダイオキシンの関係もあり、焼却施設は建設費も維持費も高額になる。少しでも長い間、現在の施設が使用できるようにごみの減量や再資源化に努めていただきたい。
4	おおかた7～8割は燃やせるゴミだと思う。町民の協力も必要になってくるだろう。将来に汚いものを残さない方法を検討してもらいたいと思っている。
5	町民も負担を強いられている。資源を全て洗って出すというのも、すごく水を使う。農家地区では、車でごみステーションまで運んで行く。そういった町民負担も考えてほしい。それだけコストや労力をかけているのに、本当にリサイクルされているのかと考えてしまう。
6	二次災害や消防活動の邪魔にならないように、一般町民が火災現場に近づけないような方法をとるべき。善意の方が、手伝おうとするのも分かるが、何かあった場合に誰が責任をとるのか。
7	交通安全協会の役員を長年やっているの、そろそろ若い人に交代して欲しいが、役場に言うと行政区で話合ってくれと言われ、行政区では交通安全協会に入っていない方もいるので、話として取り上げてもらえない。会員でなくても役員になれるような方法も考えていかないと。地域の人数も減っているし、役員の配置が難しくなっている。世代が下がるにつれて奉仕精神が薄れてきていて、役員が次の時代に引き継がれていかない要因だと思う。
8	埋立ゴミを最終処分場に持ち込むと、臭いがひどい。分別がしっかりとされていけば、埋立ゴミからは基本的に臭いがしないと思う。それだけ分別がしっかりとされていないということではないか。
9	将来にゴミを残していかないような処理方法を検討していく必要があるのではないかと。町民も埋立ゴミを減らしていくように分別をしっかりとするような意識の向上が必要だと思う。
10	バイオガスプラント(堆肥化センター)でのゴミの受入はできないのか。理論上可能だが、受入体制が整っていない。
11	地域保育所が給食にならないだろうかという意見が多いと聞くが、鹿追幼稚園の副食は共同調理場で作っている。主食はついていない。約700食を共同調理場で作っていて、それが施設の限界のようだ。地域保育所からは数年前から、給食にして欲しいという意見がある。鹿追保育園は認可保育所なので、保育所施設内で自校給食を作らなければならない。地域保育所は認可保育所ではないので、そうはならない。基本的に、場所が違うからサービスが違うというのは困る。場所の問題ではなく制度上の問題がある。
12	鹿追保育所と地域保育所では保育料が異なる。地域保育所はいくら所得があっても上限が1万円ちょっとだったと思う。それは、制度的に認可保育所かそうでないかの違い。保育料が低いからということで、市街地区に住んでいながら、上幌内の保育所に通わせている親もいる。行政として、場所によって料金やサービスが違うということが良いのか。鹿追の保育料は十勝管内で言えば中の下くらいだと思う。国の基準からいっても低い方にある。子どもが多い人には負担にならないように保育料が減額される制度をとっている。
13	農業従業員用の住宅として、瓜幕のトレーラーハウスと新町の住宅があるが、3年以上入れない決まりになっていて、次の住宅が見つからずに帰ってしまう人もいる。役場や農協で住宅の相談にのってくれる体制を作ってほしい。
14	これからも農業従業員は増えていくと思うので、役場だけでなく、農協と協力しながら、若い人が鹿追に残ってもらえる方法を検討すべき。
15	新規就農や離農跡地に対しての施策が鹿追には不足していると思う。
16	農業従業員の増加は、産業の活性化に貢献している。住民票があり、納税もしている。行政はそれに応えていくべき。住宅の問題は早急に改善すべき問題と思う。
17	他の産業で企業誘致などをするのは鹿追にとっては難しいことだと思う。だからこそ、農業の従業員・研修生は大事にしていくべき。
18	バイオガスプラントはもっと可能性を秘めた施設だと思う。もっと何かできないかと感じている。循環型農業に取り組んでいることを大々的にPRしていけば、鹿追からでも国を動かしていけると思う。

19	バイオガスの液肥などは、評価されるだけのものできているので、付加価値をつけて経済ベースにのせていくことが重要。いきなり町外は難しいので、まずは地元から。
20	地域保育所が給食にならないだろうかという意見が多いと聞くが。
21	鹿追幼稚園の副食は共同調理場で作っている。主食はついていない。約700食を共同調理上で作っていて、それが施設の限界のようだ。地域保育所からは数年前から、給食にして欲しいという意見がある。鹿追保育所は認可保育所なので、保育所施設内で自校給食を作らなければならない。地域保育所は認可保育所ではないので、そうはならない。基本的に、場所が違うからサービスが違うというのは困る。場所の問題ではなく制度上の問題がある。
22	どこからが虐待（体罰）なのだろうか。昔は教科書を忘れたらゲンコツをされたりもした。今の親は、すぐにそういったことを問題にしようとする。愛情があれば虐待（体罰）にはならないと個人的には思うが。怒られたり、叩かれたりしないと分からない子どももいると思う。親に、叩いて良いか事前に許可をもらっておけば良いのでは。親が過保護すぎるのも要因のひとつ。
23	不登校の子どもに対応するようなカウンセラーはいるのか。教頭先生が中心となって、サポートする体制をとっている。専門の先生はいない。だから、先生にかかる負担が大きい。町にも専門のスクールカウンセラーの配置を要望しているが、対応してもらえない。近隣の市町村は配置しているところも多い。各学校に1人ずついなくても、町に1人いれば良いのでは。
24	子どもが20歳になったが、大人としての社会人としての義務を理解していないと思う。税金や年金や保険料など。何も知らないまま大人になってしまうことに不安を感じる。それは大人の責任もあるのではないか。昔は、そういった教育や学習の場を、労働組合が担っていた面もある。成人式の前夜祭でそういった話ができないか。それでは、せっかくの前夜祭なのに誰も来なくなってしまうが、行政がそういった教育の場を設けることも必要かもしれない。分かりやすい説明や、制度の理解が深まるような工夫を行政にしてもらいたい。

(商工業分科会)

1	人口の減少を食い止める方法が必要。人口が減少していけば、まちは活性化しない。人口を増やすのはなかなか難しいので、減少を食い止める、現状維持をするという方向性で良いと思う。
2	うちの店にも鹿追に移住してきた方が、髪を切りにきてくれる。その際に、多くの期待感をもって鹿追町に移住したのに、いざ、住民票の転入届を出しに行くと、事務的な対応で寂しかったという声を聞く。転入した方に対する感謝の気持ちのようなものを表せればと思う。もう少し、町全体での移住者受入の意識を高めていくことが必要かと思う。
3	町の環境も良い、花のまちづくりなど景観も良い、個人の住宅のとても綺麗で質が高い。そういった面で、住みやすい環境にはあるようだ。鹿追の環境も良く、沢山のまちから選んだのに、役所の窓口の対応が事務的で寂しかった。町外や道外から転入してきたと分かるだろうに、町内間の転居のような扱いをされたとのことだった。
4	防衛の官舎などの払い下げがあるが、町内の業者に聞いたら、そういった払い下げ物件があれば、是非欲しいという業者は多い。リフォームして使いたいと言っている。
5	埋立ゴミの関係はどうなっているのか。これからも埋立を続けていくのだろうか。現在はどの程度、埋立てがされていて、どれくらいもつのだろうか。
6	公共施設が全て月曜日休館というのはどうだろうか。もう少し施設間で調整しても良いと思う。
7	昔、新光1区に住んでいたが、高齢化が進み葬儀を出すのが大変だった。高齢化が進んでいる行政区にて葬儀があった場合に手伝いなどを出せるようにならないか。亡くなる方が増えていく中で、行政としての支援システムがあれば検討してもらいたい。
8	もみじ工房のあり方について、もう少し自立を目指した施設となっていくのだろうか。現状、自立を目指すような施設ではないというような話も聞く。親の気持ちとしては、自分が先に逝ったときに、子どもが自立して生活できるかどうかというのが心配。そういったことを目指した対応が必要だと思う。剣淵町に視察に行ったときに、喫茶店のウェ이터をさせて、自立を目指しているといった事例を目にした。体験や教育を踏まえながら、自立を目指していくようなことが必要だと感じる。ワーキングセンターを活用することも検討しては。ソーセージ作りなど。
9	経済的な面、医療の面、福祉の面から考えて、ここ3～5年は生活していけると思うが、自分が60歳、65歳、70歳となっていくときに、自分がこの町に住んで生活していけるのかという不安がある。将来に向けて、期待よりも不安の方が大きい。
10	商工業対策で言えば、いわゆる「買い物難民」が心配である。後継者不在による閉店によって、一般町民の方の買い物が不便になる。帯広に行くのも交通の便が良くなかったりする。標津町では、町と商工会でお金と知恵を出し合い、買い物難民をなくすべく移動購買を実施している。儲けを目的としたものではなく、福祉対策の一環として総合計画の中で一考してほしい。
11	土日に町内で外食をしようと思ったが、閉まっているところが多くて結局食べられなかった。商工業者の意識の向上が必要だと思う。
12	農業従業員などで若い人が多いが、従業員で鹿追に来てくれても、住環境のストレスで帰ってしまう人が多いようだ。仕事はできるようなのでもったいない。住宅がもっと整備されれば、町外からの従業員も増えてくると思う。
13	かんの温泉は、施設はまだあるのでもったいないと思う。
14	町内の商工業者に聞くと、防衛官舎などの払い下げ物件があれば、是非リフォームして活用したいと言っている。
15	道の駅で情報をもっと伝えることができればと思う。
16	元町の教員住宅(浅野青果の南側)も老朽化が進んで、全然先生が住んでいないと思う。
17	公共施設が全て月曜日休館というのはどうだろうか。もう少し施設間で調整しても良いと思う。
18	道の駅に宿泊(車中泊)している方が、年間数名だが髪を切りにきてくれる。よく耳にするのが、お風呂はどこですかという話。トリムセンターの周知がされていないと思う。子どもの遊び場も聞かれる。プールが周知されていない。とてももったいないことだと思う。

(子ども分科会)

1	自然がいっぱいできれいで住みやすい。
2	鹿追町は施設が充実している。夏なので虫が多いからなのかもしれないが、塾の帰りには、街灯が消されていて、自転車の明かりだけで帰らなければならないので怖い。追いかけられた事はないけど、変な人を見かけた事はある。
3	通明、瓜幕地域の子は、拓バスを利用している。他の子は、北鹿追の子などはスクールバスを利用して来れている。私の住んでいるところでは片道470円掛ってしまう。往復で1日1,000円弱掛ってしまう。学校から出る補助金は5,000円。それでは、1週間しか持たない。今、瓜幕や通明の子たちが鹿追高校に来なくて、他の学校に行ってしまうのはそういうところに理由があると思う。できれば、スクールバスやもう少し安い方法で行きたい。自転車で通うか、親の車で通うしかない。地方の子は農家の人が多いので親が送り迎えできない。交通機関をどうにかしてほしいと思っていた。
4	押しボタン式の信号。トンボ橋の押しボタン年に1~2回本当に凍ってしまって押せない。通れない。反対側から押ししてもらったりする。1、2年生では無理。5~6年生なら石を使って押している。
5	どこの町へ行っても、ここまでしてくれる(意見を聞いてくれる)ところはないと思う。満足している。
6	鹿追生まれではないが、育ちが鹿追。地域を盛り上げる活動が続けば良い。
7	高校 小さい人からお年寄りまで住み易い町だと思う。医療費の補助を中3までやってくれるので住み易くて良い町。
8	笹川や上幌内にはお店が限られているので不便である。
9	高校生の間では本屋が欲しいという声を良く聞く。家で自宅学習をしようと思った時に参考書とかを買うところが鹿追にはないので不便である。
10	市街地から少し離れると街灯が少なくなり、砂利道もあって危ない。部活動で夜遅くなることもあるので。
11	セブンイレブンとセイコーマートが街から少し外れた場所にある。どちらかでも街中にあればいいなと思う。
12	通明地区の国道などは除雪が行き届いてないことが多い。
13	通明地区には公園がない。
14	鹿追の公園は遊具が少ない。小さい子どもが家族で遊べる楽しめる公園があるといいと思う。
15	通明、瓜幕地域の子は、拓バスを利用している。他の子は、北鹿追の子などはスクールバスを利用して来れている。私の住んでいるところでは片道470円掛ってしまう。往復で1日1,000円弱掛ってしまう。学校から出る補助金は5,000円。それでは、1週間しか持たない。今、瓜幕や通明の子たちが鹿追高校に来なくて、他の学校に行ってしまうのはそういうところに理由があると思う。できれば、スクールバスやもう少し安い方法で行きたい。自転車で通うか、親の車で通うしかない。地方の子は農家の人が多いので親が送り迎えできない。交通機関をどうにかしてほしいと思っていた。
16	鹿追独自の授業があるので、とても興味深い。地球学では然別湖で自然ウォッチングが楽しい。
17	町民の人が良い人ばかりで、カナダ短期留学ではたくさん支援されている。町民との連携がされていると思う。
18	愛知県に住んでいた事がある。愛知県は自然が少ないので、自然と共生できる良い町だと思う。山村留学小4で1年、中2で来てそれから継続しています。
19	愛知県から山村留学で来ていて、空気もおいしい。住み良い。
20	クラスの中で全部食べる人が5分の1。ほとんど食べる人は5分の3。全然食わず、すごく残す人もいる。いつも牛乳が山積みになっている。おいしくないわけではなく、もともと食べる気が無い。
21	小学校5年生から吹奏楽をやっている。高校生や小学生、釧路教育大の方など、色々な人とのコミュニケーションがとれる、良い町だと思う。
22	下校中、畑で仕事をしている人に挨拶をすると挨拶を返してくれるところがいい。
23	携帯電話はフィルタリングとして10時までは使えるが、それ以降はアクセスできないようにしている。携帯電話はフィルタリングはかけていない。親からの連絡手段として携帯を持っている。自転車に乗りながらのメールや携帯電話の使用は学校で禁止されている。
24	子ども会とかで小学生が楽しめるイベントが多い。

25	<p>移動図書館（バンビ号）で週に1回、3冊くらい借りる。バンビ号は自分の読みたい本はけっこうある。バンビ号は近くに図書館があるので、利用する人は限られている。低学年の日と高学年の日に分かれて、1週間置きに借りられる。まんがはあるが物足りない。1年生のうちは使うが、あとはあまり使わない。瓜中生徒は利用するが、放課後に来るので、部活動の時間とかぶり、借りる時間が少ない。読みたい本が読めない。2週間に1回しか移動車が来ない。図書館にもっと本があったらいいと思う。図書館は良く利用する。進学の関係で工業関係の本がもっとあったらいいと思う。帯広図書館に行っている。</p>
26	<p>DVD（視聴覚資料）は幼稚園の時は見ていた。上の学年になると置いてあるものが幼く、マンガ本などを読むようになる。高校生や中学生が椅子を占領している。施設の使い方を改善してほしい。</p>
27	<p>スポーツが好きで少年団やスポーツ交流会などのスポーツのイベントがある。ドッチボール大会に参加する。楽しい。</p>
28	<p>スケートをやっているが、池田高校の選手とか来て技術講習をしてくれると上手くなる。運動がしやすい良い町。早い時期、11月くらいから始める。</p>
29	<p>瓜幕にはプールがあるけど6月から8月までしか開いていない。体育の授業でも鹿追に来なければならない。本を借りるのは2週間に1回しか移動車が来ない。</p>

(若者分科会)

1	町内には民間住宅も少なく、その空室情報を得るにも苦労する。自衛隊員は基本的には官舎入居となるが、中には選択しない家族もいるため、公営住宅に加え、民間住宅も不足していると感じる。
2	農村地区と市街地を結ぶ交通手段が不足している。子ども達は、休日や夏休みなどは保護者等の送迎か自転車しかない。不審者の問題もあるため、自転車で移動も安心できない。高齢者で運転ができない人や運転できなくなった人の農村地区と市街地を結ぶ交通手段が必要だと思う。
3	ゴミの最終処分場の利用可能な期限が残り少なくなってきている。今後は埋め立て方式か焼却方式なのか判断つかないが、将来に向けた検討を開始すべきであると考えている。
4	帯広のベッドタウンとしての活用や庭付きの公営住宅を作ってみてはどうでしょう。また、最初から移住は難しいと思うので。夏の間だけなど季節移住も受け入れてはどうでしょう。家を建てて住んでもらおうと思うとなかなか進まないのではないのでしょうか。
5	農作業ブームなので土地レンタルを施策とし、農業体験を移住につなげてみてはどうでしょう？鹿追の教育や子どもに対する福祉は良いと聞いています。行っている施策で他の町と違うところを外にアピールしてはどうでしょう。
6	STVラジオを聞いていると、今金町(檜山管内)が「我が町は良いところ」と歌や町民参加でPRしています。耳に残り、良いPRになっていると感じます。
7	うちの町が他の町から比べて人口の減りが少ないのは、他の町にはないものがあるからではないのでしょうか。乳量も2番目です。乳量もあるからそれを活かした工場などいいと思います。だからと言って、自然を壊してはいけません。良いところを伸ばして、ないものを作って行ければ良いと思います。
8	鹿追は他の人にとって、おいしいものがあるって景色がきれいで遊べる場所があります。総合的に充実しています。本州から来ると北海道は冬がいい。バイオガスプラントもあり、見た目だけでなく、中身もきれい。安心して住める環境。こういう施設が増えればいいなと思います。
9	鹿追は人が温かいなど田舎の良さを持ちながらも、町はきれい。物にも困らない。若者も元気です。何かの縁でこの町に来た人にとっては、鹿追に来て良かったと思っています。小さな子どもからお年寄りまで年齢関係なく、顔見知りで、会話ができる地域。鹿追には人の温かさを感じる。もともと鹿追に住んでいる人にもこの良さに気づき大切にしてほしい。
10	住民アンケートの中には良い意見と厳しい意見もあり、若者として何をしたらいいかと考えました。要望することも大事ですが、自分たちでできることをやっていけたら良いと思います。
11	自然環境を壊したくない。
12	鹿追が大好きです。大人がこの気持ちを大切に子どもと接していれば、子どもたちも鹿追大好きになると思います。子どもたちが鹿追大好きって言える、言葉がけをしていきたいと思っています。
13	住民みんなが伸び伸びと生活できればいいと感じます。地域の中で、自分はこのびのびと育ち、今でも良い思い出になっています。これから大人になって子どもができて、伝えて行きたいと思っています。
14	老人保健施設では町内からの人が確保できず、他の市町村より人を求めている。
15	来年は北鹿追保育所への入所者がいないため、閉鎖されるのではないかと声を聞いた。地域全体での判断は不明だが、自分たち農業後継者は、現在は未婚であるが、いずれ結婚し子どもが生まれた折に北鹿追保育所が存続していないことがさびしい。北鹿追小学校が無くなった地域にとって、保育所は地域の要であり、保育所の運動会等は地域全体の大きなイベントである。
16	賃貸料金が少し高くても、きれいな公営住宅を望んでいる。公営住宅が不足していると思う。それに加え、民間住宅も不足している。
17	ピュアモルトでの研修終了者などは、その後も鹿追町に居住を希望する人が多いが、入居可能な住宅が確保できず断念する人もいる。若い人が入居可能な低い賃貸料金の公営住宅整備を望む。
18	住宅不足の原因に、農業経営の在り方が変化したことがあげられる。経営規模が拡大し、家族労働のみでは労働不足となり、従業員を他地域から確保している。産業振興のためには公営住宅が必要だと思う。
19	公園で遊ぶ子どもたちの姿をあまり見かけない。安心して利用できる遊具やきれいなトイレの整備を希望する。遊具の一部はメンテナンスが行われていないと感じる。
20	子どもたちが水遊びできる施設が公園があればいいなと思う。
21	学校の授業で公園に行く機会があるが、降雨時の対応が可能でないと不安なため、屋根の付いた施設整備を望む。
22	商店街のシャッター閉鎖が目立つようになってきた。今後、さらに増加するのではないかと不安を持っている。創業する人が必要だと思う。

23	道の駅しかおいの来客数が減少している。原因のひとつに高速道路無料化があると思う。鹿追町のブランド化や知名度アップを望む。
24	帯広市に近いので、帯広のベッドタウンとして活用や、庭付きの公営住宅などはどうだろうか。
25	農作業ブームなので、土地レンタルを施策として、農業体験を移住につなげてみてはどうか。
26	鹿追町は十勝で2番目の乳量を誇っているので、それを活かした工場を作るのも良いと思う。工業は十勝でも最下位なので。良いところを伸ばしつつ、無いものを作っていけば良いと思う。
27	すべての保護者の考えではないが、小規模校に就学を希望したいとの声を聞く。(事例 清水町児童 鹿追町で就学) 町内で自己都合により、学校を選択できないか。
28	鹿追が大好きです。大人がこの気持ちを大切に子どもと接していれば、子どもたちも鹿追大好きになると思います。子どもたちが鹿追大好きって言える、言葉がけをしていきたいと思います。
29	住民みんなが伸び伸びと生活できればいいと感じます。地域の中で、自分のはのびのびと育ち、今でも良い思い出になっています。これから大人になって子どもができて、伝えて行きたいと思います。
30	元気のある若い人もいますが、連帯感が少ないと感じています。青年活動(農村青年会・ピュアモルト)にもう少し役場からも持ち上げられないのでしょうか。それでない、これから先どんどん低迷していくのではないかと思います。
31	年上の人とのつきあいが少なくなっているのではないのでしょうか。人との交流を通し、人付き合いや町のこと、いろんなことを学んでいくのが大事だと感じています。青年活動で、いろんな職業の人と関わることで、見聞も広がられます。
32	ピュアモルトクラブの行事に役場職員をはじめ多くの人に参加してもらいたいです。
33	若い人は町に貢献したいと思っていますが、正直なところ鹿追の人口が減ろうが増えようが、農業経営にとって影響はないので、農家の息子は必死になりません。自分の仕事が上手いけば良いと思っています。ピュアモルト行事の参加者が減っているのはそのため。大きな行事で皆が一緒になれる機会をつくれれば、また変わってくるのではないのでしょうか。人が集まる機会があればいいと思います。